

大きな憧れをいただく大草っ子



大草小学校だより 「だいじょうぶ」

第10号 平成29年9月28日(木) 校長 有谷孝彦

学校づくりの合言葉 「大草トライアングル！」 トリプルC

自信 (Confidence) 挑戦 (Challenge) 思いやり (Consideration)



たかがあいさつ、されどあいさつ！

毎年のことながら、この時季の変化に対応するための体調管理は、難しいです。気持ちの良い季節に体調を崩さないように御自愛ください。

学校に関心をもっていただいている地域の方にこんなことを御指摘いただきました。「ここ3年間で、大草小の子どもたちのあいさつは、下手になったよ。」この御指摘は、私の胸にぐさりと刺さるとともに、日頃の私の姿勢・指導を振り返る金の言葉でした。あいさつは、



やらされるのではなく、自然と出てくるものであるという考えは変わらないのですが、小学生の発達段階を考えると、あいさつを促す指導は必要です。そこが足らなかったと痛感しました。また、私生活を振り返ると、子どもたちに指導できる状況ではないかと反省しきりです。子どもの身近な環境である教師が曖昧なあいさつをしているようでは、あいさつの習慣の定着は期待できません。子どもたちと共に、今日から心のこもったあいさつを心がけたいと思います。



浜はまつりの
ようだけれど
海のなかでは
何万の
鯉のとむらい
するだろう。

朝焼小焼だ
大漁だ。
大羽鯉の
大漁だ。

大漁
金子みすゞ

懸命に！ 賢明に！

「やりやあいいでしょ？やりやあ」という意識で学習に取り組むとどうなるでしょう。学習内容は耳や心に届くどころか、理解もできない。ましてや定着なんてできません。私たちは、自らつかみ取ろうとする授業を展開しようと日々努力していますが、なかなかうまくいかないのが現状です。



最近の大学では、知識に関する学習内容は、インターネットの動画で配信し、学生は自宅で学んでいるそうです。では、学校では何をするのでしょうか？学校では、知識はすでに学んできたものとして取り扱い、学んできたことを生かした討論や発展学習を行っています。大講堂で百名単位の講義を受ける時代は終わっているのです。自分の将来の職業（キャリア）を見据えたうえで、人との関わりの中で必要な知識を駆使しながら自分の考えを表現し、学び取る学習スタイルが主流となってきています。

このようなことを考えると、懸命に努力することは必要ですが、賢明に学ぼうとすることが肝要ではないかと考えます。家庭学習の時間は1時間すると決めて行うのも大切ですが、例えば「風呂上がりの30分間は、必ず計算に取り組む。」など、工夫した賢明な取組も考えていかなければ、これからのさまざまな変化に対応できないようです。スクラムを組んで取り組みましょう。

★10月の主な行事予定 3のつく日は「えがおの日」

- 4日（水）3・4年社会科見学
- 9日（月）体育の日
- 13日（金）ICT授業研究会（本校にて）
- 14日（土）大草塾（稲刈り）
- 18日（水）1・2年学級レクリエーション
- 19日（木）子ども会議
- 23日（月）小体連選手を励ます会
- 24日（火）小体連
- 25日（水）給食費集金日～27日
- 27日（金）活水女子大との交流 オレンジ祭（5・6年）
- 28日（土）大草塾（脱穀、相撲練習）



学校の様子等については、大草小学校HPにも掲載しておりますので御覧ください。